

$$\text{合計特殊出生率} = \left[1 - \text{生涯未婚率} \right] \times \text{夫婦完結出生見数} \times \text{離死別等の影響}$$

新人口推計

(平成18年12月推計)

$$= (1 - 23.6\%) \times 1.69人 \times 0.97 \sim 0.98 \text{程度} \dots \mathbf{1.26 (2055年)}$$

2005年以降生まれ世代の仮定値(中位)

※ 参照コーホート(1990年生)では、23.5%、1.70

2055年頃の影響度(中位)

仮定出生率

国民の結婚、出生に関する希望が実現した場合の合計特殊出生率

$$= (1 - \mathbf{10\%}) \times \mathbf{2.0人} \times 0.96 \sim 0.97 \text{程度} \dots \mathbf{1.75 \text{程度}}$$

10%未満

2.0人以上

2040年頃の影響度(中位)

結婚に関する国民の希望

「いずれ結婚するつもり」と答えた未婚者の割合

男性 87.0%

女性 90.0%

出典:2005年出生動向基本調査(独身者調査)

既婚者の割合

男性 27.2%

女性 36.0%

出典:平成17年国勢調査

注:18~34歳の者の数値

同世代人口の中の「既婚者及び結婚意欲のある未婚者」の割合

男性 90.7%

女性 93.9%

注:配偶関係不詳を按分して算出

→国民の9割以上が結婚を希望

子供に関する国民の希望

「いずれ結婚するつもり」と答えた未婚者の希望子供数

男性 2.07人

女性 2.10人

注:18~34歳の者の数値
出典:2005年出生動向基本調査(独身者調査)

夫婦の理想子供数、予定子供数

理想子供数 2.40人

予定子供数 2.15人

注:34歳以下の者の数値
出典:2005年出生動向基本調査(夫婦調査)

→国民が希望する子供数は平均2人以上